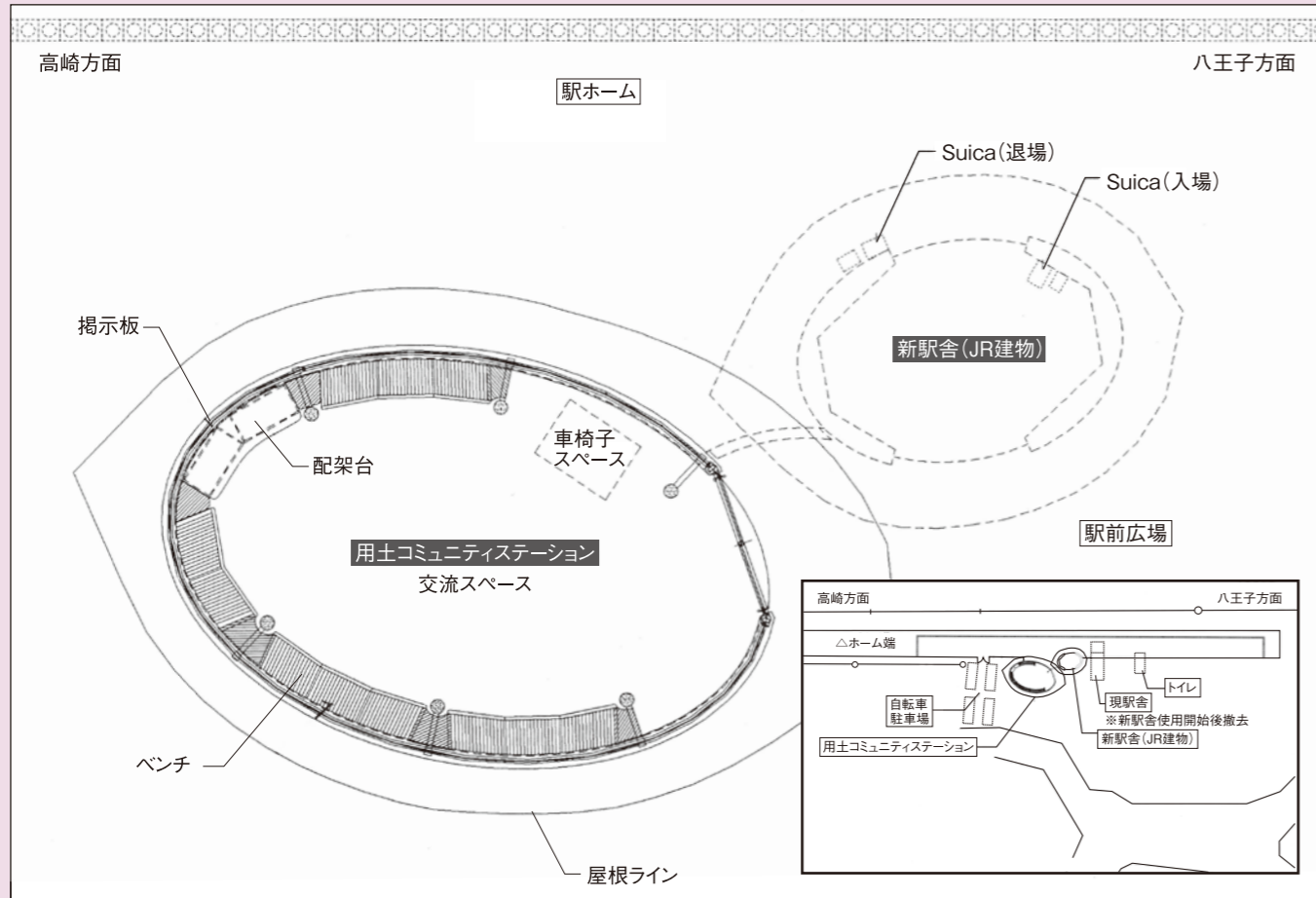


「用土コミュニティステーション」間もなく完成!



のどかな風景に溶け込んだコミュニティステーション



桜の葉をイメージした屋根形状



平成18年撮影写真



用土駅開設記念写真(昭和8年)

出典/「ふるさとの思い出写真集 寄居・岡部」下山二郎編
発行：株式会社国書刊行会

今月下旬、JR用土駅に隣接して建築が進められている「用土コミュニティステーション」がついに完成します。

施設の特徴

この施設は、ベンチなどの駅の待合機能はもちろんのこと、地域コミュニティの核となる交流スペースを有し、さらには小さな観光拠点としての機能も併せ持つ複合的な施設です。旧用土駅舎と同様に、地域の皆さんが詠んだ俳句などを掲示するスペースや、絵画などを展示するギャラリー設備のほか、観光パンフレットの配架台なども設置します。列車の利用者が集まる施設を「鉄道の駅」と呼びますが、当施設は、地域の皆さんが集い交流することができます。まさに「コミュニティの駅(ステーション)」と呼ぶことができます。

施設の概要

名称/用土コミュニティステーション
所在地/大字用土1721番地2
建築面積/39・74㎡
構造/鉄骨・平屋建て・カラーガルバリウム鋼板葺き
壁・床面/タイル、大理石等のモザイク
主な設備/木製ベンチ、掲示板、パンフレット配架台、展示設備(ピクチャーレール等)
その他/原則として休館日はありません。また、24時間の開館となります。

施設のデザイン

当施設は、平成22年に建物の基本デザインを公募し、86の応募作品から選ばれたデザインを基に設計を行い、建築を進めてきたものです。屋根の形状は桜の葉をイメージし、壁面や床面には桜の花びらをかたどったモザイクを施すなど、用土地域の特色である豊かな花や緑を強く意識したデザインとなっています。

展示設備の使用

施設に備え付けてある、ピクチャーレールやハンガーなどの展示設備を無料で使用することができます。地域の風景を描いた絵画や写真の展示、地域行事のPRなどに設備を利用してみませんか。

- 設備の使用を希望される方は、10月26日以降に企画課へ使用許可の申請を行ってください。なお、設備を使用することができる方は、次のとおりです。
- ① 町内に在住・在勤・在学する方
 - ② 町内に所在する法人または団体
 - ③ その他

(注1) 営利目的と認められる場合や管理上支障がある場合などには、設備を使用することができません。
(注2) 駅の待合機能があるため、施設の貸館は行いません。

問い合わせ/企画課(☎581・212
1内線361)へ。